

ふりがな 氏 名	いとう みおこ 伊藤 美穂子	職 名	助教
取得学位	修士(生活学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	臨床栄養学実験、臨床栄養学		
所属学会	日本肥満学会、摂食嚥下リハビリテーション学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
・慢性腎臓病の調理実習会 「あいち 臨床栄養」	平成 24 年 9 月～現在	腎臓病食事療法を普及活動する栄養士グループ「臨床栄養あいち」のメンバーとして、慢性腎臓病患者を対象に料理教室、栄養セミナーを年 4 回、企画・実施
・食育教室「サイエンス・クッキング」	平成 25 年 7 月～令和 2 年	「NPO 法人親子コミュケの会」との協同企画として、夏休み期間中の小学生を対象に、科学と調理の結びつきを体感する「調理と実験」講座を開催。年 1 回
・臨床栄養管理の実際のスキルを学ぶために、参加型実習、アクティブラーニングを取り入れた授業の実践	平成 27 年 ～現在	家政学部食物栄養学科(現 健康科学部健康栄養学科)の授業科目「臨床栄養学実験」(現 臨床栄養管理学実習)を受講する学生に対し、医療現場における栄養管理で、将来 NST に参画できる実践力、応用力、コミュニケーション力が付くよう、体感、実践を促す授業形式を行っている
・臨地実習に関わる事前・事後指導	平成 27 年 ～現在	臨地実習先(病院、福祉施設)より課される課題の確認、添削指導。実習先の要請に沿った内容となるよう個別指導を行い、有益な実習に繋がるようにしている
・現場で使用している医療カルテ、栄養管理計画書、患者への栄養指導教材の媒体の作成	平成 27 年 ～現在	現場で使用されているカルテ、管理計画書は施設独自で活用されており、既存の教科書には記載、使用されることほとんどないが、実務経験上、作成し、得た資料・情報を活用し学生に指導を行っている
・臨床栄養調理の実際の展開法	平成 28 年 ～平成 29 年	家政学部食物栄養学科の授業科目「臨床栄養学実習」を受講する学生に対し、病院給食における献立展開を実際の調理を通して理解、指導している。常食からの各種病態に合わせた食事展開法におけるスキル、考え方を実務経験者として実際の現場の流れを紹介し、効果的で無駄のない方法を実技で会得出来るよう工夫している
・実務経験を活かした、実際の現場に活かせる講義の工夫、理解 (1)	平成 29 年 ～令和 2 年	家政学部食物栄養学科の授業科目「臨床栄養学 2」を受講する学生に対し、教科書の内容が実際の現場ではどのように理解、実践されているのか、実務経験者として、現状理解を取り入れ、実情に合った栄養管理が出来るよう授業を展開している。管理栄養士として必要な知識については徹底的に理解できるようレポート、試験を実施している

事 項	実 施 年月(日)	概 要
・同上(2)	令和2年 ～令和2年	健康科学部健康栄養学科、および看護学科の授業科目「臨床栄養学1」を受講する学生に対し、教科書の内容が実際の現場ではどのように理解、実践されているのか、実務経験者として、現状理解を取り入れ、講義している。
・地域貢献事業における瑞穂保健所共催講座の実施 (1)	平成29年 12月	よく噛んで健康寿命を延ばそう、をテーマに、「口腔の高齢化に伴う注意点」を担当、講義を行った。咀嚼判定ガムなど、アクティビティを取り入れ、高齢者にも楽しく解りやすく情報提供を行った。 (平成29年度開かれた地域貢献事業、参加者30名)
・同上(2)	平成30年 2月	低栄養、フレイル予防をテーマに、地域高齢者を対象に栄養講座と調理実習会を行った。学生ボランティアも一緒に参加し、学生教育の場としても活かしている。
・瑞穂生涯学習センター 講師	令和3年11 月26日	大学がセンターと共催する後期講座プログラムの一環として、「フレイルと栄養」と題した講演を地域住民の方を対象に行った。(参加者25名)

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	ダウン症児の離乳期から幼児期における食事の実態調査(ポスター発表)	単	令和元年 11月3日	第40回日本肥満学会 (東京国際フォーラム)	伊藤美穂子、海老子里美、齋藤啓子、福岡麻琴、図師良枝
学会発表	ダウン症児の発達に添った離乳支援ガイドの作成(オンデマンド発表)	単	令和3年 3月20日	第41回日本肥満学会 (ウェブ開催)	伊藤美穂子、海老子里美
学会発表	通所施設を利用する障がい者の健康状態(オンデマンド発表)	単	令和4年 3月26日	第42回日本肥満学会 (パンフィコ横浜)	伊藤美穂子、海老子里美